

令和 2 年度
学校関係者評価結果報告書

令和 3 年5月27日

学校法人西田学園
アルファ医療福祉専門学校

学校関係者評価委員会報告書

学校法人西田学園 アルファ医療福祉専門学校は、令和3年5月27日に「令和2年度 学校自己評価表」に基づいて学校関係者評価を実施しましたので、以下の通り報告いたします。

令和3年5月27日作成
学校法人西田学園
アルファ医療福祉専門学校
学校関係者評価委員会

1. 学校関係者評価委員出席者 定員5名

- (1) 榎本 耕（社会福祉法人桐仁会 施設長）
- (2) 小磯 英次（社会福祉法人たけのうち福祉会理事長）
- (3) 柁屋 富治郎（町田市接骨師会会長）
- (4) 松坂 健志（社会福祉法人東の会みたけ施設長）

学内出席者5名

- (1) 瀧 将仁（校長）
- (2) 山根 満（教務課課長）
- (3) 蒔田 あゆみ（教務課課長代理）
- (4) 林 希美（教務課）

3. 会議の概要

(1) 校長挨拶

開会挨拶の後、職業実践専門課程及び学校関係者評価委員会についての概要、趣旨説明。

(2) 出席委員紹介

(3) 学内出席者紹介

(4) 本校概要説明

本校の沿革、学科、生徒数、就職状況等について説明。

(5) 令和2年度自己評価結果について

自己点検・自己評価報告書をもとに、項目ごとの自己評価、課題、改善策について説明をした後、出席委員との意見交換、質疑応答が行われた。

4. 学校関係者評価結果

大項目	学校関係者評価
<p>基準1 教育理念 目的・育成人材像</p>	<p>評価：適切である。 課題：学校の理念や教育目標を提示しているが、教育目標等が社会ニーズに即しているかについては課題である。 改善策：関連業界の動向の把握に努め、社会のニーズに即した教育活動を展開することが必要である。</p>
<p>基準2 学校運営</p>	<p>評価：適切である。 課題：教務システムの活用が不十分であるため、業務の効率化の推進が課題である。 改善策：教務システムの活用を通じ、業務の効率化を推進していく。</p>
<p>基準3 教育活動</p>	<p>評価：適切である。 課題：教員の資質向上について、予算を含めた計画的な取り組みが課題である。 改善策：教員研修については、内容・回数ともに見直しを行う。</p>
<p>基準4 学修成果</p>	<p>評価：適切である。 課題：資格取得率が学科によってかなり差があり、国家試験合格率の向上は課題である。 改善策：今年度の結果を踏まえて、指導内容の見直しを進めていく。</p>
<p>基準5 学生支援</p>	<p>評価：適切である。 課題：令和2年度の退学者数は前年に比べて減少したが、さらなる低減を図るためには新たな強化策が必要。 改善策：退学理由の分析から、低学力者に向けた施策を実施し、退学者数の低減を目指す。</p>
<p>基準6 教育環境</p>	<p>評価：適切である。 課題：遠隔教育の実施の拡充には、設備のさらなる整備が必要である。 改善策：Eラーニングの導入など新しい学びの形を推進していくため、教育環境の整備は引き続き強化をしていく。</p>
<p>基準7 学生募集と 受け入れ</p>	<p>評価：適切である。 課題：退学者数低減の施策として、入学選考基準の見直しが必要である。 改善策：入学選考時の採点項目、採点方法を見直し、入学者選考のさらなる適正化を図っていく。</p>
<p>基準8 財務</p>	<p>評価：適切である。 課題：財務のさらなる安定化のためには、支出の見直しや業務効率</p>

	<p>化による経費削減に努めていく必要がある。</p> <p>改善策：財務の安定のために、入学定員の確保、退学者の防止に努めていく。</p>
<p>基準 9 法令等の遵守</p>	<p>評価：適切である。</p> <p>課題：特になし</p> <p>改善策：</p>
<p>基準 10 社会貢献</p>	<p>評価：適切である。</p> <p>課題：地域貢献のために、学校の教育資源の活用が必要である。</p> <p>改善策：地域貢献では、学園祭の在り方を見直し、近隣住民の方に参加いただける有益な実施内容を検討する。</p>

3. 令和元年度 学校関係者評価（平成30年度の自己評価についての評価）

項目	評価
(1) 教育理念・目標 「理念・目的・育成人材像は定められているか」	適切である。
(2) 学校運営 「目的等に沿った運営方針が策定されているか」	適切である。
(3) 教育活動 「教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか」	適切である。
(4) 学習成果 「卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか」	適切である。
(5) 学生支援 「学生相談に関する支援体制は整備されているか」	適切である。
(6) 教育環境 「施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか」	適切である。
(7) 学生の受け入れ募集 「学生募集活動は適正に行われているか」	適切である。
(8) 財務 「財務について会計監査が適正に行われているか」	適切である。
(9) 法令等の遵守 「法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか」	適切である。
(10) 社会貢献・地域貢献 「学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか」	適切である。

4. 学校関係者評価 総括と課題について

項目	評価・意見
自己評価結果についての 全体的な評価・意見等	令和2年度の学校運営については、自己評価では多くの項目で適切・概ね適切の評価であったが、委員としても概ね適切であったと評価する。令和3年度においても、学校教育の質的向上のために、各委員から示された課題に対しては、改善に努めていただきたい。コロナ禍での学校運営は困難も伴うと思うが、令和2年度以上の評価を得られるように、努力をしていただきたい。